



かがやく浜の子

平成29年2月3日

『白羽小には ありがとうがいっぱい』

本年度から年3回の全校道徳や短時間での全校学活を始めました。全校児童が体育館に集まり、同じ課題や議題を縦割りの小グループで話し合う「みんなで作る授業」です。1月24日(火)に第3回の全校道徳を行いました。本校道徳推進教師の樽林教諭が授業者となって「ありがとうの心」についてみんなで考えました。その中で「ありがとう」の言葉の意味にふれました。国語辞典によると「ありがとう」は有り難しの変容で「あること」が「かたい」と言う意味で、本来は「減多にない」「珍しくて貴重だ」という意味を表しています。子どもたちは、普段使う感謝の気持ちを表す言葉にはこのような意味があったことを知りました。

「一年間お世話になったどなたに感謝の気持ちを伝えたいか」縦割りの小グループで話し合いをしました。6年生が進行役となり考えを出し合います。1年生だって上級生と同じように自分の考えを話します。

- ・家族にありがとうを言いたい。いつもぼくの世話をしてくれるから
- ・先生方に感謝を伝えたい。私たちのことを考えていろいろなことをしてくれるから
- ・寒い中、通学路に立ってくださっているサポート隊の皆さんに元気なあいさつで感謝を伝えたい。等々、子どもたちは、グループで話し合ったことを全体の場で発表し合いました。この後、子どもたちは、学級に戻り今日の授業の振り返りをしました。子どもたちの思いを以下に抜粋して掲載します。お読みください。

○違う学年の友達と話し合っただけ緊張したけど楽しかったです。「ありがとう」は、とても大切なんだと分かりました。私はお母さんにありがとうを伝えたいです。いつもご飯を作ってくれるからです。お手紙で伝えたいです。(1年川目まありさん)

○わたしは、みんなのありがとうの気持ちがすてきだと思いました。私は地域の人たちに感謝します。わけは、寒い中ずっと立って見守ってくれるからです。感謝の手紙を書いて渡したいです。(2年齋藤優衣さん)

○違う学年の友達と話し合ってみて、私の意見と似ているなど感じました。「ありがとう」にも意味があって、その意味を感じながらこれからもありがとうを言っていきたいです。私は、いつも相談にのってくれる家族にお手伝いをしたり優しくしてあげることで感謝を伝えたいです。(3年高塚友希さん)

○違う学年の子はそれぞれ自分の意見を持っていていいと思いました。低学年もちゃんと自分の意見を言っていました。普段よく使っている言葉にはこんなすばらしい意味があったことを聞いてびっくりしました。私は、家族に感謝の気持ちを伝えたいです。手紙やプレゼントもそうだけど、一番は元気な笑顔と健康な体です。体調を崩さずいつも笑顔を絶やさないようにしたいです。(4年増田果歩菜さん)

○ぼくのグループでは、みんなが家族に感謝を伝えたいと話していました。ありがとうの意味を知って、有り難いことを毎日やってもらっているのだから、日頃から感謝の気持ちを伝えていきたいと思いました。ぼくは家族に感謝を伝えたいです。11年間毎日世話をしてくれたから、回りくどい言葉なしに、心を込めて「ありがとう」を言いたいです。(5年藤井真輝さん)

○普段使っている言葉だけれど意味を深く考えると時々考えて言葉を使いたい、気持ちを込めて言いたいと思いました。6年間お世話になった先生に手紙や思い出作りで感謝を伝えたいです。(6年内藤彩羽さん)

○少し緊張したけれどこのグループのリーダーとして「仕切れた」と思いました。やってもらえるということは当たり前ではなくて、とても有り難いことなんだと知りました。私は6年生になってどれだけありがとうを言っただろうと思いました。私は、いつも私の様子を見抜いて相談に乗ってくれる家族にありがとうを伝えたいです。(6年木塚咲良さん)

(校長 増田久美子)